

なくそう

ひろ  
広めよう

さべつ      こころ  
差別の心

かんしゃ      こころ  
感謝の心

す   と   っ   ぷ  
**S T O P !**

こ   ろ   な   さ   べ   つ  
**コ   ロ   ナ   差   別**



茨城県教育委員会マスコットキャラクター  
「ふれあちゃん」



茨城県人権啓発キャラクター  
「ココロちゃん」

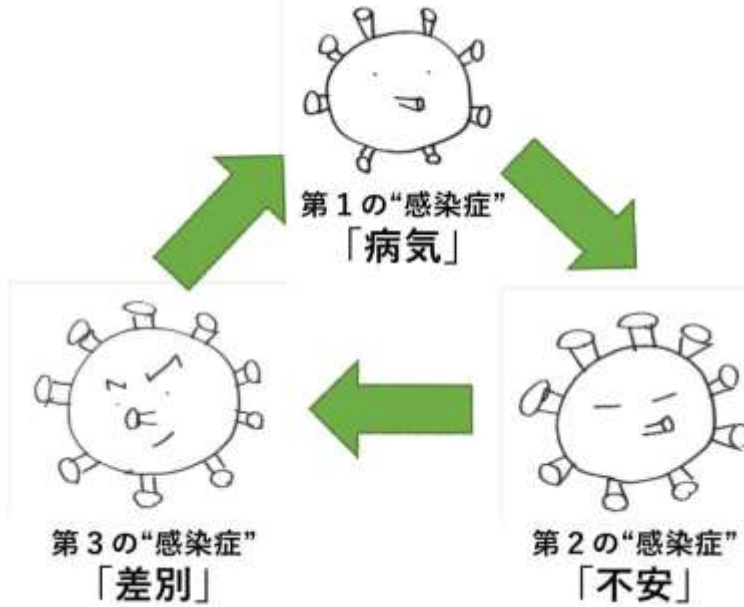


茨 城 県 教 育 委 員 会

しんがた  
**新型コロナウイルスには3つの顔があります**  
 かお

月 日 曜日

3つの“感染症”は  
 つながっている



ひとりひとりが気を付けないと  
 ワタシはこうやって力をつけていくよ…

月 日 曜日

この感染症の怖さは、

「病気」が「不安」を呼び、

「不安」が「差別」を生み、

「差別」が更なる「病気」

の拡散につながる

ことです。

み えない ウィルス への 不安 から 生じる 差別 や 偏見  
を受け、 悲しみ、 苦しんで いる 人 たち が います。



がっこう ともだち せき ころな おおごえ い ひと  
学校で友達が咳をしたら「コロナだ！」と大声で言っている人がいました。  
どうしたらよいですか？

ことば い ともだち かな おも じぶん い  
その言葉を言われた友達はきっと悲しかったと思います。「自分が言われたら  
どう思う？」と声をかけてみましょう。勝手な判断で騒いではいけません。



ともだち おや びょういん つと ころな ともだち ちか  
友達の親が病院に勤めています。「コロナがうつるから、その友達に近づかな  
い方がいいよ」と言っている人がいるのですが、どうしたらよいですか？

いしゃ かんごし など かんじゃ いのち すく かんせんたいさく じゅうぶん  
お医者さん、看護師さん等は、患者さんの命を救うために、感染対策を十分  
に行った上で一生懸命働いています。頑張っている人、その家族を、偏見  
の目で見ることなく、そういう方々に感謝し、応援することが大切です。



かんせん げんき どうこう ともだち ころな  
感染したけれど、元気になって登校してきた友達に「コロナがうつるから  
ちかよ ちかよ ころな ことば ひと  
近寄るな」と心無い言葉をかける人がいます。どうしたらよいですか？

どうこう いしゃ なお ほか ひと  
登校できたのはお医者さんが「治ったので、もう他の人へはうつらない」と  
いってくれたからです。友達は何も悪くありません。感染したことで「何か  
い 言われてしまうのではないかと不安に思っているかもしれません。やさし  
ことば  
い言葉をかけてあげたいですね。



なぜ <sup>こと</sup>このような事が <sup>お</sup>起きるのでしょうか。

<sup>わたし</sup>私たちは どうすれば いいのでしょうか。



<sup>さべつ</sup> <sup>こころ</sup>差別の心 <sup>ただ</sup> <sup>じょうほう</sup>をもたないためには、正しい情報 <sup>かんが</sup>をもとに考  
<sup>たいせつ</sup> <sup>ばなし</sup> <sup>ふ</sup> <sup>まわ</sup>ることが大切です。うわさ話やデマなどに振り回されず、  
<sup>あいて</sup> <sup>たちば</sup> <sup>た</sup> <sup>おも</sup>相手の立場に立ち、思いやりをもって行動 <sup>こうどう</sup>しましょう。

<sup>しんがた</sup> <sup>ころ</sup> <sup>な</sup> <sup>う</sup> <sup>い</sup> <sup>る</sup> <sup>す</sup> <sup>こと</sup>新型コロナウイルスの事で、いじめたり、仲間外れ  
<sup>こと</sup> <sup>ぜったい</sup>にしたりする事は、絶対にいけません。



<sup>さべつ</sup> <sup>う</sup> <sup>み</sup>もしも差別を受けたり、見かけたりしたら…



<sup>ひとり</sup> <sup>なや</sup> <sup>かか</sup>一人で悩んだり抱えこんだりせずに、友達 <sup>ともだち</sup>やお家 <sup>うち</sup>の方 <sup>かた</sup>、学校 <sup>がっこう</sup>  
<sup>せんせい</sup> <sup>ちか</sup> <sup>おとな</sup> <sup>そうだん</sup>の先生など近く <sup>さべつ</sup>の大人に相談して、差別をなくすためにどう  
<sup>こうどう</sup> <sup>いっしょ</sup> <sup>かんが</sup>行動するのがよいか、一緒に考えていきましょう。

<sup>でんわ</sup> <sup>そうだん</sup> <sup>まどぐち</sup>電話相談窓口 【いじめ・<sup>たいばつ</sup> <sup>かいしょう</sup> <sup>さ</sup> <sup>ぼ</sup> <sup>ー</sup> <sup>と</sup> <sup>せん</sup> <sup>た</sup> <sup>ー</sup>体罰解消サポートセンター】

<sup>けんおう</sup> <sup>けんぼく</sup> <sup>ろっこう</sup>県央：029-221-5550 県北：0294-34-4652 鹿行：0291-33-6317

<sup>けんなん</sup> <sup>けんせい</sup>県南：029-823-6770 県西：0296-22-7830

(受付) <sup>へいじつ</sup> <sup>ごぜん</sup> <sup>じ</sup> <sup>ごご</sup> <sup>ふん</sup>平日の午前9時～午後4時30分 (火・木・金は午後6時30分まで延長)

※令和3年4月から変更の可能性がります。